

コロナ禍に対応した「ウォークスルー方式」のふれあいの場

コロナ禍によって集いの場が開催できない中、「おむすび」をキーワードに「ウォークスルー方式」で地域の人たちとふれあう場を作り、同時に地域のボランティア活動をつないでいく新たな活動拠点を作っています。

昭島市



おむすびころりん

OKプロジェクト

ワーオ君と一緒に
(昭島社協キャラクター)

ご縁・支援・円満
～えんがあふれる
まちづくり～

想い



昔ながらの「おむすび」といった食文化を若い世代に伝承しながら、地域の異世代をつなぎ、食品ロスや食にまつわる問題(孤食、栄養)も考え、来た人たちが笑顔になれる場を作りたいなあ…!

そうだ、フードバンクTamaからお米を分けてもらい、月に2回ずつ「おむすび」を握って、配布したり、折り紙ボランティアの皆さんにも配布する時の袋を作ってもらって、地域活動をつなげてみよう!

閃き



実行



コロナ禍でなかなか集まれないから、ウォークスルー方式の場にしよう!



結果



子供たちをはじめ、高齢者まで幅広い世代の方々が毎回「おむすび」を楽しみにしてくれていて、今では160個を握って80人に配布しているよ。地域の多くの世代が集い、食の文化を伝承する場だよ!



おむすびころりん

OKプロジェクト実行委員会とは…

「おむすび」をワードに地域の住民、ケアマネ、ヘルパー、デイサービス職員、管理栄養士、SC、CSW、地域包括等が集結して地域をむすぶ会